

定期監査結果報告書

第1 監査の概要

1 監査対象

教育委員会 学校教育課、社会教育課

2 対象期間

令和7年度（令和7年4月1日～令和7年11月30日）

3 監査の実施期間

令和7年12月3日(水)～令和8年3月5日(木) ※1月15日(木)ヒアリングを実施

4 監査の目的及び方法

この監査は、財務に関する事務の執行が法令等に基づいて適正かつ効率的に行われているかを主眼として、監査対象課より事前に監査資料の提出を求め、諸帳簿、証憑書類等を審査し、関係職員から説明を聴取して監査を実施した。なお、行政監査の視点に立った監査も併せて行った。

5 監査の着眼点

- (1) 財務に関する事務の執行（予算執行・収支・契約・出納保管・財産管理等）について
- (2) 市民サービスの向上と事務事業の取り組みについて
- (3) 各課の事務内容と職務分担及び職員の勤務状況について

第2 監査対象の概要

（職員数は令和7年11月末現在）

- 1 学校教育課 【全体 職員34名（うち管理職4名（教育次長1名・主幹1名を含む）、指導主事6名（統括指導主事1名含む）、会計年度任用職員324名）】

総務企画係 【職員4名】

総合教育会議、高校特色化、補助金交付、教育委員会開催、教育長秘書業務、叙位・叙勲、教育行政評価委員会、寄付採納、学校関係施設台帳の整理、学校関係施設の工事及び管理委託、公立学校文教施設整備補助金、共催後援、学校の施設管理に関すること、

《学校管理員》

各小中学校の管理に関すること

- ① 燕東小学校 【学校管理員（会計年度任用職員）1名】
- ② 燕西小学校 【学校管理員1名、学校管理員（会計年度任用職員）1名】
- ③ 燕南小学校 【学校管理員（会計年度任用職員）1名】
- ④ 燕北小学校 【学校管理員（会計年度任用職員）1名】
- ⑤ 小池小学校 【学校管理員（会計年度任用職員）1名】

- ⑥ 大関小学校【学校管理員(会計年度任用職員)1名】
- ⑦ 小中川小学校【学校管理員1名、学校管理員(会計年度任用職員)1名】
- ⑧ 粟生津小学校【学校管理員(会計年度任用職員)1名】
- ⑨ 吉田小学校【学校管理員1名、学校管理員(会計年度任用職員)1名】
- ⑩ 吉田南小学校【学校管理員1名、学校管理員(会計年度任用職員)1名】
- ⑪ 吉田北小学校【学校管理員(会計年度任用職員)1名】
- ⑫ 分水北小学校【学校管理員1名、学校管理員(会計年度任用職員)1名】
- ⑬ 分水小学校【学校管理員1名、学校管理員(会計年度任用職員)1名】
- ⑭ 島上小学校【学校管理員(会計年度任用職員)1名】
- ⑮ 燕中学校【学校管理員1名、学校管理員(会計年度任用職員)1名】
- ⑯ 小池中学校【学校管理員(会計年度任用職員)1名】
- ⑰ 燕北中学校【学校管理員(会計年度任用職員)1名】
- ⑱ 吉田中学校【学校管理員1名、学校管理員(会計年度任用職員)2名】
- ⑲ 分水中学校【学校管理員1名、学校管理員(会計年度任用職員)1名】

学事保健係【職員4名、会計年度任用職員3名】

学級編成、学校図書館充実事業、学校保健、災害共済給付、教職員健康診断、労働安全衛生管理、各種負担金・補助金、就学援助、学籍事務、特別支援教育（児童生徒）就学奨励、特別支援学級の児童生徒の学習・活動補助、学校図書館充実事業、学校図書館司書業務に関すること

- ① 燕東小学校【介助員1名、学校介助員(会計年度任用職員)2名】
- ② 燕西小学校【学習支援員(会計年度任用職員)1名、学校介助員(会計年度任用職員)10名、事務補佐員(会計年度任用職員)1名、学校図書館司書(会計年度任用職員)1名】
- ③ 燕南小学校【学習支援員(会計年度任用職員)1名、学校介助員(会計年度任用職員)3名、看護師(会計年度任用職員)1名】
- ④ 燕北小学校【学校介助員(会計年度任用職員)2名】
- ⑤ 小池小学校【学習支援員(会計年度任用職員)1名、学校介助員(会計年度任用職員)3名】
- ⑥ 大関小学校【学校介助員(会計年度任用職員)2名】
- ⑦ 小中川小学校【学習支援員(会計年度任用職員)1名、学校介助員(会計年度任用職員)4名、事務補佐員(会計年度任用職員)1名】
- ⑧ 粟生津小学校【学校介助員(会計年度任用職員)2名】
- ⑨ 吉田小学校【学習支援員(会計年度任用職員)1名、学校介助員(会計年度任用職員)11名、事務補佐員(会計年度任用職員)1名】

- ⑩ 吉田南小学校【学習支援員(会計年度任用職員)1名、学校介助員(会計年度任用職員)10名、事務補佐員(会計年度任用職員)1名】
- ⑪ 吉田北小学校【学習支援員(会計年度任用職員)1名、学校介助員(会計年度任用職員)3名】
- ⑫ 分水北小学校【学校介助員(会計年度任用職員)1名】
- ⑬ 分水小学校【学習支援員(会計年度任用職員)1名、学校介助員(会計年度任用職員)7名】
- ⑭ 島上小学校【学校介助員(会計年度任用職員)1名】
- ⑮ 燕中学校【学習支援員(会計年度任用職員)1名、学校介助員(会計年度任用職員)5名、事務補佐員(会計年度任用職員)1名、学校図書館司書(会計年度任用職員)1名】
- ⑯ 小池中学校【学校介助員(会計年度任用職員)1名、事務補佐員(会計年度任用職員)1名】
- ⑰ 燕北中学校【学校介助員(会計年度任用職員)2名】
- ⑱ 吉田中学校【学習支援員(会計年度任用職員)1名、学校介助員(会計年度任用職員)4名、事務補佐員(会計年度任用職員)1名】
- ⑲ 分水中学校【学習支援員(会計年度任用職員)1名、学校介助員(会計年度任用職員)2名、事務補佐員(会計年度任用職員)1名】

指 導 係 【職員7名、指導主事6名(うち統括指導主事1名)、特任指導主事(会計年度任用職員)2名、部活動地域展開総括コーディネーター(会計年度任用職員)1名、ALT(会計年度任用職員)3名、英語指導員助手(会計年度任用職員)5名、ICT支援員(会計年度任用職員)4名、燕市教育センター専任所員(会計年度任用職員)1名、燕市教育センター職員(会計年度任用職員)3名、教育支援センター指導員(会計年度任用職員)16名、教育支援センター支援員(会計年度任用職員)4名、部活動指導員(会計年度任用職員)25名】

教育課程、学習指導、学校運営指導助言、児童生徒指導、教職員研修、通学路安全対策、部活動の地域展開事業、校内教育支援センター事業、つばくろロボキッズ教室、Jack&Bettyプロジェクト、ALT及び英語指導、燕ジュニア検定事業、長善館学習塾事業、ICT教育推進事業、読解力育成プロジェクト、STEAM教育推進事業、遠距離通学費補助金、奨学金貸付事業、入学準備金貸付事業、未来いきいき地域クラブ運営、部活動指導員、中学校における外国語指導助手、小学校の英語指導助手、ICT学習指導補助、燕・弥彦科学教育センターの管理運営等に関すること

学校給食係 **【職員 3 名、管理栄養士（会計年度任用職員） 1 名、施設管理員（会計年度任用職員 1 名）】**

学校給食運営委員会の開催、学校給食センターの運営・施設管理、学校給食の実施計画及び運営、学校給食会計、地産地消の推進、食育推進、給食物資の選定、食物アレルギー対応、給食の異物混入に関すること

児童クラブ係 **【職員 3 名、特任指導主事（会計年度任用職員） 1 名、事務補佐員（会計年度任用職員） 1 名】**

児童クラブ、なかまの会に関すること

《児童クラブ・なかまの会》

- ① 東児童クラブ **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 5 名、児童クラブ等支援員（会計年度任用職員） 1 名】**
- ② 西燕児童クラブ **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 2 名、児童クラブ等支援員（会計年度任用職員） 6 名】**
- ③ 西小児童クラブ **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 10 名、児童クラブ等支援員（会計年度任用職員） 8 名】**
- ④ つばめみなみ児童クラブ **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 3 名、児童クラブ等支援員（会計年度任用職員） 3 名】**
- ⑤ 燕北児童クラブ **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 3 名、児童クラブ等支援員（会計年度任用職員） 2 名】**
- ⑥ 杉名児童クラブ **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 4 名、児童クラブ等支援員（会計年度任用職員） 3 名】**
- ⑦ 小中川児童クラブ **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 13 名、児童クラブ等支援員（会計年度任用職員） 2 名】**
- ⑧ 児童クラブフレンド **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 9 名、児童クラブ等支援員（会計年度任用職員） 4 名】**
- ⑨ 児童クラブメート **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 4 名、児童クラブ等支援員（会計年度任用職員） 6 名】**
- ⑩ b & g 燕吉田南メート **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 2 名、児童クラブ等支援員（会計年度任用職員） 2 名】**
- ⑪ 児童クラブレインボー **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 4 名、児童クラブ等支援員（会計年度任用職員） 4 名】**
- ⑫ 児童クラブスマイル **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 2 名、児童クラブ等支援員（会計年度任用職員） 1 名】**
- ⑬ ぶんすい北っこ児童クラブ **【放課後児童支援員（会計年度任用職員） 5 名、**

児童クラブ等支援員（会計年度任用職員）7名】

- ⑭ わか竹児童クラブ【放課後児童支援員（会計年度任用職員）5名、
児童クラブ等支援員（会計年度任用職員）6名】
- ⑮ 大関なかまの会【放課後児童支援員（会計年度任用職員）3名、
児童クラブ等支援員（会計年度任用職員）3名】
- ⑯ 島上のなかまの会【放課後児童支援員（会計年度任用職員）1名、
児童クラブ等支援員（会計年度任用職員）2名】

2 社会教育課 【全体 職員 21名（うち管理職 4名）、会計年度任用職員 28名】

生涯学習推進係 【職員 4名、会計年度任用職員 15名】

社会教育委員、生涯学習推進の施策、生涯学習推進協議会、社会同和教育、社会教育概覧、生涯学習人材バンク、社会教育施設の連絡調整、図書館の管理運営、図書館協議会、地区公民館・分館の管理運営、勤労青少年ホームの管理運営、市民交流センターの管理運営、吉田ふれあいセンターの管理運営、青少年問題協議会、青少年育成センター運営協議会、青少年の健全育成、二十歳のつどい等に関する事

中央公民館係 【職員 2名、会計年度任用職員 4名】

中央公民館の管理運営、公民館運営審議会、公民館映写会等事業、つばめ目耕塾、燕大学、市民教養講座・フェスティバル等事業、家庭教育推進事業、青少年育成協議会等に関する事

文化振興係 【職員 6名、会計年度任用職員 9名】

芸術・文化活動の普及振興、芸術文化団体等との連絡調整、市美術展覧会、文化財調査審議会、文化財の保存・活用・指定・保存管理、埋蔵文化財の保護、郷土史燕の発行、長善館史料館の管理運営、分水良寛史料館の管理運営、つばめっ子かるた大会、良寛書道展、文芸つばめの発行、文化会館の管理運営、文化会館自主事業、文化会館運営審議会等に関する事

スポーツ推進室・スポーツ推進係 【職員 5名】

体育施設の指定管理、三条・燕総合グラウンド施設組合、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員、総合型スポーツクラブの育成、燕市スポーツ協会の育成、燕市スポーツ少年団の育成、東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流会関連事業、アスリート弁当の普及、燕さくらマラソン大会、各種スポーツ大会・教室、子ども体力向上サポート事業、ゆめみらいスポーツ教室、全国大会激励金交付等に関する事

第3 監査の結果

1 学校教育課

(1) 調書・聞き取りによる確認事項

ア 羽ばたけつばくろ応援事業は、社会貢献や夢を実現しようとする小学生から 20 歳までの団体、及び高校生から 20 歳までの個人を対象に、自己啓発、学習、視察などの活動や地域活動を支援する事業である。今年度で 10 年目を迎え、事業は定着してきており毎年新規の申請もあるが、申請回数に上限を設けていないため、同じ団体から似通った申請が複数回提出されることもある。より幅広い団体や個人からも申請していただけるよう、周知を強化していきたいとしている。

イ 分水北小学校及び島上小学校は、今後、複式学級が生じる見込みであることから、学校教育施設の見直し及び子どもたちのより良い教育環境に関する検討を行うため、令和 7 年 6 月、各校区に「燕市立学校の在り方検討委員会」を設置した。検討委員会はこれまでに 4 回開催し、分水地区 3 小学校での統合や、分水北小学校と島上小学校 2 校での統合を軸に検討を進めている。

また、地域住民を対象に、現状と今後の在り方に係る進捗説明会を開催し、今後の児童数の推移や検討委員会での検討状況の説明を行った。その後実施した地域住民対象のアンケート結果を考慮しながら、これからの方向性を検討し、令和 8 年 1 月に市教育委員会へ意見報告を提出する予定である。

ウ これまで、奨学金貸与の対象は大学生までであったが、令和 7 年度から、大学院生まで対象を拡充した。専門的な知識や能力等の取得を目指す意欲のある学生が、経済的な理由のために進学をあきらめることがないよう支援するものである。大学院生を追加することにより申請者数の増加が見込まれるため、奨学金貸与期間と返還期間を一体的に管理する奨学金管理システムを導入した。また、奨学金貸与と入学準備金貸付を同一のシステムで管理することで、返還状況の把握を容易にし、DX 化の推進を図っている。

エ 校内教育支援センターは、不登校または不登校傾向にある児童生徒が学校生活に適應することを目的に学校内に設置している。令和 6 年度までに中学校 5 校（全校）、令和 7 年度に小学校 14 校中、希望のあった 11 校に設置し、専任スタッフを配置した。

オ 令和 4 年 12 月に示された国のガイドラインに基づき、燕市では休日の部活動の段階的な地域移行を令和 5 年 7 月から開始した。令和 7 年 9 月から、吹奏楽部を除くすべての部活動をすべての土・日、部活動休止日とし、部活動に代わる活動の場として未来いきいき地域クラブの活動を行っている。

現状における課題としては、参加者が 0 人もしくは少ないクラブがあること、保護者の費用負担額、活動場所への移動、平日の活動を実施できるようにするためのクラブサポーターの募集などがある。また、地域展開の課題が多く部活動を継続していた吹奏楽部についても、地域展開、地域クラブの設置を検討している。

カ 放課後等に子どもたちが過ごす場所として、学区ごとに児童クラブ又はなかまの会を開

設している。児童クラブとなかまの会は、開設時間や利用料、職員配置基準等が異なり、通学する学校によって不均衡が生じている状況である。そのため、施設の老朽化が進んでいるところや、学校の敷地、空き教室の活用等が見込めるところから、順次、なかまの会から児童クラブへの移行を進めている。令和7年度においては「大関のなかまの会」を児童クラブ機能のある子どもの居場所として施設整備を進めており、令和8年1月上旬に竣工予定である。

(2) 意見

羽ばたけつばくろ応援事業は10年目となり定着してきているが、似通った申請が上がってくるケースもあり、審査にあたっては、支援すべき内容なのか精査する必要がある。また、成果報告会については、大勢の中で発表できる良い機会ではあるが、休日開催のため、小・中学生にとっては参加が難しいとのことから、より柔軟な開催方法を検討されたい。

分水地区小学校の今後の在り方については、市教育委員会で統合が決定された場合には、地域住民にご理解いただけるよう、十分な説明を行うことが必要である。統合後も児童が安心して学校生活を過ごすことができるよう努めていただきたい。

奨学金貸付事業・入学準備貸付事業については、燕市独自の奨学金貸与期間と返還期間を一体的に管理できるシステム導入をしたことで、督促や催告業務の負担軽減や人的ミスの削減に繋がるなど、事務処理の効率化と正確性の向上が期待できる。また、奨学金の督促、催告については、連帯保証人への連絡や請求を早期に行うなど、未収金回収に取り組んでいることは評価したい。未納者に対しては、早期の段階から働きかけ未収金の縮減に努められたい。

校内教育支援センター事業については、学校ごとの環境の違いから、その整備をすることが容易でないことがうかがえる。児童生徒が学校内で安心して過ごすことができ、保護者や教員の負担軽減もできるよう、今後の取り組みに期待したい。

部活動の地域展開事業については、国のガイドラインに基づき、休日の部活動の段階的な地域移行を開始した。地域クラブによっては活動拠点が通っている学校とは限らないため、中学生だけの活動場所への移動が厳しいという課題がある。また、子供の数の減少によって団体チームが組めないなど課題も多い。しかし、子供たちがやりたいことを実現するため、指導者や保護者の方々には尽力されることを願いたい。

子どもの居場所整備事業について、4月以降は分水地区にあるなかまの会がひとつとなるが、これも順次児童クラブへの移行を進めているとのことである。また、分水地区小学校の在り方検討に関わってくるため、保護者や地域住民への説明を丁寧に行い、児童クラブへの移行が円滑に進むよう努められたい。

2 社会教育課

(1) 調書・聞き取りによる確認事項

ア 公民館事業には「集う」「学ぶ」「結ぶ」の3つの役割があり、子ども体験講座や市民教養講座、つばめ目耕塾などを実施しているほか、文化祭や市民教養講座フェスティバルを開催し、参加団体と市民が交流する場を提供している。人口減少、少子高齢化が進む中、現代にあった公民館活動が期待されていることから、地域を造ることの大切さを実感するとともに、公民館がその一助となることを目指している。そのため、毎年、教室や講座終了後にアンケート調査を行い、市民のニーズを把握することにより、次回の講座等に反映するよう心がけている。

イ 燕・弥彦総合事務組合水道局の移転により、空き室となった燕庁舎2階を学習室として整備し、12月15日に「燕庁舎学習室」としてオープンした。施設の整備にあたっては、主に利用する高校生の意見を取り入れるため、まちあそび部メンバー等を中心にワークショップを開催し、開館時間や利用のルールなどを決定した。開館時間は、平日16時から21時30分、休日9時から21時30分までとなっており、利用対象は学習目的であればどなたでも利用可能となっている。今後、利用状況を注視しながらレイアウトの変更等も検討していきたいとしている。

ウ 令和7年度に実施した文化会館自主事業は、次のとおりである。※令和7年11月末現在

事業名 【内容等】	入場者数 (人)	入場料収入 (円)	費用 (円)
市内小学校合同鑑賞会 【劇団ポプラ「オズの魔法使い」】	1,146	0	3,833,500
「おかあさんといっしょ」ファンターネ！ とあそぼ	1,250	1,000,500	5,885,047
立川談春独演会	636	0	1,068,640
つばめ音楽祭（邦・洋楽）	350	105,000	237,965
つばめ音楽祭（ロック&フォークフェスタ）	207	96,000	637,547

エ 市内のスポーツ人口の減少を背景に、子どもたちが多くのスポーツを体験することで運動を始める「きっかけづくりの場」となるよう、今年度新規事業として10月13日のスポーツの日に「つばめスポーツキッズフェスタ」を開催した。燕市スポーツ協会や燕市スポーツ少年団などの関係団体が一体となり、15種目のスポーツを気軽に体験できる内容となっており、対象は小・中学生で、保護者等も含め来場者は1,008名と想定を大きく上回った。参加者のうち、クラブへの加入を希望する場合は関係団体へ繋げるなど、スポーツを始めるきっかけに寄与したものと捉えている。また、ブース出展した団体からも、次回も協力したいという声が寄せられるなど高い評価を得た。

オ 公民館は、社会教育法により規定された施設で利用制限があるため、市民がより利用しやすい施設となるよう、自治体が自由にルールを設定できるコミュニティセンターの設

置を検討している。来年度から 2 施設をモデル施設として先行的にコミュニティセンター化し、検証を進める予定としている。

カ 令和 8 年 3 月 20 日に合併 20 周年を迎えるにあたり、大人から子どもまで幅広い世代の皆さんに手に取って楽しんでいただき、燕市への関心をいっそう高めてもらうために制作した「つばめトランプ」が完成した。市内こども園や保育園、小中学校のほか、児童館や児童クラブにも配布し、子どもたちには普段使いの遊びとして利用してもらい、トランプで友達や家族とコミュニケーションを取ってもらえるものと考えている。今後の活用方法については、市内公共施設で販売するほか、ふるさと納税の返礼品とすることも検討している。

(2) 意見

中央公民館事業については、公民館利用者から声を聞いたり、アンケートを行うなど、希望のあった講座や教室などについて可能な限り採用している。内容の見直しや改善など工夫をしても、参加者が少ない状態が続いている企画もあるが、参加者を増やすことだけに固執するのではなく、多様な視点から利用者の要望に応じた企画を検討されたい。

燕庁舎学習室の主な利用者は中学生や高校生とのことだが、閉館時間が遅い時間帯であるため、防犯対策が必要といえる。施設内が確認できる監視カメラを導入していることから、利用者も安心して利用ができるが、災害や緊急事態が発生した場合、適切な対応が取れる体制を整えることをお願いしたい。

文化会館自主事業については、市民のニーズに合った市民参加型の成果発表や年齢を問わずどの世代も楽しめるものを提供するには、実施費用と集客数のバランスが難しいことがうかがえるが、今後も市民の意見を積極的に取り入れ、地域に根差した文化活動の場を提供できることを期待したい。

つばめスポーツキッズフェスタ運営事業については、今年度新規事業であり、子どもたちが多様な競技に触れ、スポーツを始めるきっかけとなるよう開催されたイベントである。予想を上回る来場者数であり好評だった。今後もこの事業を継続し、一人でも多くの子どもたちにスポーツを体験して楽しさを知ってもらい、スポーツを始めるきっかけになることを期待したい。

コミュニティセンターの設置については、市民が公民館を利用しやすいように、各自治体が利用制限等を自由に制定できるコミュニティセンター化を検討している。現在は社会教育法により制限があるため、市民から公民館が使いづらいとの声もある。コミュニティセンターは、柔軟な利用基準を制定することができるため、規制の緩和により利用者が増加することが見込まれるが、移行にあたっては、公民館とコミュニティセンターの区別について明確な違いの周知が必要と思われる。利用促進につながるよう、より良い施設の利用環境整備に努めていただきたい。

つばめトランプは、合併 20 周年を記念し制作されたもので、市内の小中学校や児童館、

児童クラブ等へ配布した。今後はふるさと納税の返礼品とすることを検討しているとのことであり、つばめトランプの存在が広まり、より多くの人から手に取ってもらい、楽しんでもらえることを期待したい。